

No.52 後側方人工股関節置換術の手術を受ける方へ(入院2週間)①
～経口補水療法～

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	手術に対する不安が最小限である			麻酔・手術後の経過に問題がない (バイタルサインが安定し、合併症がおこらない)	
経過	入院日・手術前日	手術当日(術前)	手術日(手術後)	手術1日目	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い時は、坐薬や痛み止めを使用します。看護師にお知らせ下さい。 以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい。 (目薬や貼り薬・塗り薬も教えて下さい。) 抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいる場合は、術中術後の出血を減らすために中止します。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示のあった薬のみ内服します。 手術をする方の足に印を付けます。 手術をしない方の足に、血栓予防の為、弾性ストッキングを履きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は、病室に戻ってきます。 酸素マスク：麻酔科の指示があるまで酸素マスクをします。 尿道の管が入ってきます。 点滴：2日目の夕方まで持続で行います。 抗生剤は術後から、8時間毎に手術1日目まで投与します。 痛み止めは、点滴の管から持続的に入るものを使用します。(痛みが強い時に、痛み止めを追加投与できるボタンがあります。) 痛みがある時は、追加で坐薬や注射などの痛み止めを使用できます。看護師に声をおかけください。 血栓を予防するために、両足に弾性ストッキングと器械(フットポンプ)を装着します。 ※自分自身で足首をよく動かすことが、血栓予防に重要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後の消毒は基本的に必要最小限となります。 朝から手術前に内服していた飲み薬を再開します。 弾性ストッキングは術後10日目まで装着します。 血栓予防のために抗凝固薬の内服を開始します。75歳以上の方、低体重・腎機能低下がある方は、内服しない場合があります。 痛みが続く時には、痛み止めの飲み薬を使用します。 夜眠れない時には、睡眠導入剤をお出しします。看護師に声をおかけください。 	
治療	 <ul style="list-style-type: none"> 眠れそうにない時には、夜9時までに看護師にお知らせください。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> 今まで通院していた診療科や予約がある時は、看護師にお知らせ下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血を行い、貧血の程度を見ることがあります。 帰室直後より翌日の朝まで、体温・脈拍・血圧などの測定を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 採血を行いません。 	
測定	<ul style="list-style-type: none"> 毎日14時前後に熱や脈拍などの測定を行いません。 				
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事は病室または食堂です。()食です。 治療食の必要な方は適宜変更します。 21時以降、食事することはできません。 飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、食事はできません。 AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) うがい・洗面はしても構いません。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後も禁食です。 飲水は酸素終了後、または医師の指示が出てから可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から食事が始まります。()食
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 活動の制限は特にありません。 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上で寝たまま安静となります。 体の向きを変えるときなどは看護師がお手伝いします。 脱臼予防のため、外転枕を脚の間に使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 安静度に制限はありません。 全体重をかけて構いません。 車椅子の乗車も可能です。
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーにお入りください。(介助が必要な方は、看護師がお手伝いします。) 爪もきれいになっているか確認しましょう。 マニキュアも落としてください。 			<ul style="list-style-type: none"> 体を拭き、寝巻きを着替えたり、日常のお手伝いをします。
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ☆普段からの運動が大切です。腰上げ運動やよい方の足の曲げ伸ばしをしましょう。障害のない部分の筋力まで衰えてしまうのを防ぎましょう。 ☆ベッド上で動かないことで、血管の中で血の塊ができ、血流を阻害してしまう恐れがあります。予防のために両方の足首をしっかり曲げ伸ばしする運動をしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ☆曜日によって、進行具合が変更する場合があります。ご了承ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法士と一緒にベッドサイドで立ったり座ったりする練習をします。 	
説明	<ul style="list-style-type: none"> 手術の前日までに主治医より手術についての説明があります。 看護師より入院生活や手術前後の生活についての説明があります。 薬剤師が病室に伺い、入院前から使用しているお薬の確認をします。 リハビリについて理学療法士と作業療法士より説明があります。 	<p>今後の方針について、ご家族で話し合しましょう。</p> <p>今後、自宅に帰る際の自宅の整備について、看護師にご相談ください。 自宅への退院が困難と思われる場合も、看護師にご相談下さい。 ※当院から転院後、その先々の退院先のことも、ご家族で話し合ってください。</p>	<p>ご家族の方へ 手術後は医師より、手術について説明をいたします。 術中・術後は連絡が取れるようにしてください。 手術中は原則、手術室の控室か病棟でお待ちください。</p>		

No.52 後側方人工股関節置換術の手術を受ける方へ(入院2週間)②
 ~経口補水療法~

ID @PATIENTID
 氏名 @PATIENTNAME

月日	/ /	/ /	/ ~ /	/	/	/	/ ~ /	
経過	手術2日目		手術3日目	手術4~6日目	手術7日目	手術8~9日目	手術10~13日目	手術14日目~
目標	麻酔・手術後の経過に問題がない(バイタルサインが安定し、合併症がおこらない)		歩行器を使用した生活ができる	T字杖の活動が可能となる			T字杖の活動が安全に行える 退院 または 転院へ	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 尿道の管を抜きます。 点滴終了後針を抜きます。 フットポンプを外します。 						<ul style="list-style-type: none"> 術後11日目に弾性ストッキングを外します。 退院に向けて、最終的な日程の調整を行います。 (ご家族の方の予定などを看護師まで教えてください。) 	
治療								
検査測定				<ul style="list-style-type: none"> 採血を行います。 レントゲンの検査があります。 (土日、祝日と重なる場合、前後の日に変更となる可能性があります。) 			<ul style="list-style-type: none"> 採血を行います。 レントゲンの検査があります。 	
入院生活	食事						歩行器で10階の食堂を利用して頂くことも可能です。	
	活動		<ul style="list-style-type: none"> 食事を召し上がる時はベッドや車椅子に腰をかけるようにしましょう。 なるべくベッドから起きる時間などを増やしていくようにしましょう。 				院内を歩行器、杖で歩行できます。	
	清潔			<ul style="list-style-type: none"> 創部を保護したまま、立位でのシャワー浴が可能になります。 (最初は看護師がお手伝いします。) 			<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、シャワーを使うことが出来ます。 ご家族が、出来る時はご説明します。 シャワー室の使用時間は、入院病棟の看護師にお尋ね下さい。 	
	リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行練習をします。 ☆初めは看護師や理学療法士と一緒に練習をします。 慣れるまでは、危険ですので一人で動くのはやめましょう。 3日目以降、リハビリセンターで訓練を行います。 長時間、同じ体勢でいることで血栓が生じる可能性があります。 足首をよく動かしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士と、日常生活動作練習を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行状態をみて、T字杖での歩行が許可されます。 			
説明						ご家族の方へ 時間が許すときは、リハビリでの様子を是非ご覧下さい。 リハビリの時間については、看護師にご確認下さい。	医師より退院後の生活について説明があります。 ・太ももと胸が近づくような股関節を深く曲げることは避けてください。 ・転倒しないように気をつけてください。 ・次回外来までに創部が赤くなるまたは熱が出るようなことがあれば、すぐに整形外来までご連絡してください。 ・退院の際に必要な薬などの希望がございましたら、医師または看護師にお知らせください。 ・退院前までに、薬剤師より必要な薬について説明をします。 ・退院前までに、理学療法士より退院後のリハビリについて説明をします。 ☆気になることがありましたら、お尋ねください。	